

## あとがき

『キリスト教学研究室紀要』第二号をお送りいたします。

京都大学キリスト教学専修（研究室）では、数年来、検討を進めてきた「紀要」が2013年度に創刊され、今回が第二号となる。内容の充実という点では、今後さらなる改善が図られねばならないものの、今年度も、第二号を無事に刊行することができたことについて、執筆者、そして編集担当者に心から感謝を申し上げたい。

本紀要は第二号が刊行されたばかりであり、その存在や目的について、まだ十分に認知されているわけではないように思われる。そこで創刊号に続き、本号においても、「あとがき」の場を借りて、紀要刊行の目的にふれておきたい。キリスト教学研究室では、授業における教育活動とともに、教員と大学院生がそれぞれの研究活動を積み上げることによる研究共同体としての活動を年度単位で行っている。本第二号に収録の「2013年度・第二演習の記録」はその足跡であり、本年度も、ここから多くの学会の学術大会における研究発表や論文発表が生み出されてきた。しかし、さまざまな事情から学会誌などにおいて論文発表に至らなかったものも存在し、その中にも論文化に値するものが少なくない。こうした研究発表に論文としての発表の場を与えることが紀要を刊行する目的の一つである。

現在、大学などの学問の現場では、良くも悪くも成果主義が幅をきかせており、論文の捏造や盗作といった事例が後を絶たない。しかし、大学院生など若手研究者にとって、この成果主義の現実を無視することは困難であり、論文発表の場を確保することは重要な課題となる。本紀要が学生の研究発表の機会を与えることを目的とするのは、こうした若手研究者を取り巻く状況に基づいている。またさらに、第二演習を中心とした年度ごとの研究室の研究活動を記録することは、研究共同体としてのキリスト教学研究室の発展にとっても重要な意味をもつことは言うまでもない。

本紀要では当面査読体制を取ることを予定していないが——可能ならば査読体制をとることが望ましいが、現時点では条件が整わない——、大学院生の研究論文、研究ノート、書評に加え、教員（常勤と非常勤）による研究論文を掲載することによって、研究論集としての十分な水準が確保されることを期待している。ただし、投稿資格については、やや広めの設定が行われる。たとえば、修士課程の大学院生でも一定の水準に達している場合は、研究ノートの形での論文掲載や書評執筆までは可能にしたいと考えている。また、第二演習に参加し発表を行った他大学の大学院生などにも、何らかの執筆の機会を与える方向で、今後検討を進めたい。

本紀要は、研究室のホームページ、あるいは京都大学学術情報リポジトリにおける公開を中心としており、基本的には電子ジャーナルとして企画された。一定部数の印刷製本も行うが、それは必要最小限のものとなる。電子ジャーナルとすることによって、キリスト教学研究室の研究活動が研究室外の方々に広く知っていただけるならば、幸いである。

『キリスト教学研究室紀要』は、毎年度末の刊行を予定しているが、この紀要を通して、キリスト教学研究室の研究・教育活動についてのみなさまのご理解とご支援をお願いしたい。

2014年3月

キリスト教学専修・教授  
芦名定道

# キリスト教学研究室紀要

第 2 号

---

— 論文 —

脳神経科学からキリスト教思想へ

芦名 定道( 1 )

有賀流ヘブライズムとユダヤ思想：二つのハヤトロギアについて

手島 勲矢( 1 5 )

内村鑑三のコヘレト書解釈

渡部 和隆( 3 1 )

— 書評 —

鄭玆汀著『天皇制国家と女性 ―日本キリスト教史における木下尚江―』

洪 伊杓( 5 5 )

松木真一著『解釈学的神学の現在』

岡田 勇督( 6 3 )

あとがき

( 7 3 )

---

2014年3月

京都大学キリスト教学研究室

# The Annual Report on Christian Studies

## II

### CONTENTS

#### Articles

Neuroscience and Christian Thought

ASHINA Sadamichi ( 1 )

Ariga's Hebraism and Jewish Thought: Two Aspects of Hayatology

TESHIMA Isaiah (Izaya) (15)

Interpretation of The Book of Ecclesiastes by Uchimura Kanzo

WATANABE Kazutaka (31)

#### Book Reviews

Chung Hyunjeong, Women and the Nation: Kinoshita Naoe and Protestant Christianity in the Meiji era

HONG Yi Pyo (55)

Shinichi Matsuki, Hermeneutical Theology Today

OKADA Yusuke (63)

Postscript

(73)

March, 2014

Faculty of Letters, Kyoto University, Department of Christian Studies

Kyoto Japan